

【アーカイブズ+の主な参加/主催イベント一覧】

～2013年～

開催月	イベント	イベントの内容	アーカイブズ+の活動
5月	ウィゼンショウ・ホール、一般開放日	マンチェスターを代表するカントリー・ハウス「ウィゼンショウ・ホール」での、メーデーの連休中に開催。	「羽ペンで文字を書いてみよう！」イベントを子供たちを対象に開催。
6月	「マンチェスターの日」大パレード	2010年以降毎年開催しているマンチェスター市のお祭り。2,000以上のアーティストが参加し、様々な音楽・芸術等の文化イベントが行われる。	「あなたがここにいれば」と題し、アーカイブズ所蔵の古い町や家族の写真、イベント写真、絵はがきを展示したテントを設営、訪れた人と写っているものについて語り合う場を提供。
	ロングサイト・ネイバーフッド・フェスティバル	マンチェスターのロングサイト地域で毎年開催される文化祭。	地域の古い写真を展示したテントを設営、地域の歴史について語る場を提供。
	クレイトン・ホールのガーデン・パーティ	マンチェスターを代表するマナー・ハウス「クレイトン・ホール」の友の会主催イベント。	子ども向けに、近隣の小学校や教会の記録や写真を展示。また、羽ペンで字を書く体験ワークショップも開催。
	クランプサル・カーニバル	クランプサル公園で毎年開催されるケルトの祭。音楽やダンス、スポーツ等のイベントが行われる。	クランプサル地域の古い写真を展示したテントを設営、ビクトリア時代の羽ペンで手紙を書く体験ワークショップを開催。
	マンチェスター軍隊記念日	イギリス連邦の軍人に対する最高の戦功勲章であるビクトリア勲章の第1階授与式が1857年6月27日に開催されたことを記念し、毎年6月27日に開催される軍隊記念日。イギリス各地で小規模なイベントが開催される。	19世紀から1950年代までの英国軍の写真、マンチェスター市に駐留していた第90、91歩兵旅団に関する記録を設置したテントを設営。兵隊さん人形やお面などに色づけする子ども向けスペースも設置。
7月	マンチェスター・サマー・メガ・マラ	毎年マンチェスターのプラットフィールド公園で開催される南アジア文化の祭。南アジアの音楽、ダンス、伝統芸能の舞台をはじめ、工芸、料理に関する屋台が並ぶ。	アフメド・イクバル・ウラー人種問題リソース・センター（マンチェスター大学）と合同で屋台を出店。マンチェスターの昔の町の写真や科学産業博物館の昔のイベントポスターなどの展示を行う傍ら、ビーズのプレスレットをつくるスペースを提供。
8月	夏の読書チャレンジ	The Reading Agencyが全国展開して開催している夏の読書イベントで、4歳から11歳までの子どもが対象。夏休み中に6冊の本を読もうというもの。2013年のテーマは「お化け屋敷」。	マンチェスター、サルフォードの幽霊スポットとして知られる「オードサル・ホール」を訪問、「お化け屋敷探検」ツアーを開催。
9月	クレイトン・ホールの一般開放日	マンチェスターを代表するマナー・ハウス「クレイトン・ホール」でのオープンハウス・イベント。	「羽ペンで文字を書いてみよう！」イベントを子供たちを対象に開催。
	マンチェスター・メトロポリタン大学の留学生フェア	メトロポリタン大学の海外留学生に対する学部説明会。	アフメド・イクバル・ウラー人種問題リソース・センター、イギリス北西部映像アーカイブズと合同でテントを設営、展示を行う。
10月	ブラック・ヒストリー月間	1987年以降、毎年10月に開催されている黒人文化・歴史について考える月間。	ロレット高校のプロジェクト、「Juba Roytonの人生」を開催、2日間にわたり高校生と展示を作成。（※Juba Roytonはマンチェスターの記録に最初にあらわれる黒人）
11月	チョールトン・ブック・フェスティバル	マンチェスター市立チョールトン図書館が例年開催しているブック・イベント。	アーカイブズ+チームとマンチェスター中央図書館のメンバーが、合同で「Magical World of Books」のテーマで参加。
12月	クリスマス祝賀会	市役所の増築ホール、レイトホールでのクリスマス祭。	アーカイブズ+チームとマンチェスター中央図書館のメンバーが合唱とクラフトコーナーを提供。

～2014年～

開催月	イベント	イベントの内容	アーカイブズ+の活動
1月	アーカイブズ+主催イベント	ウィゼンショウ・ホールでメモリー・ボックスの作成イベント。	
2月	アーカイブズ+主催アフタヌーン・ティー	レディバーン・コミュニティ協会との共催で地域の若者を対象に開催。地域の歴史についてのリサーチを行った後、お年寄りとのアフタヌーン・ティーを通じ、当該地域での昔の生活について聞くイベント。	（※レディバーンはマンチェスターの貧困エリアで、若年層犯罪が多発する地域として全英的に知られ、また周辺域の高齢化と健康問題の悪化地域としても問題となっている地域である）
マンチェスター アーカイブズ+展示スペース、オープン			
3月	マンチェスター歴史フェスティバル	数年に一度、10日間の規模で開催されるフェスティバル。マンチェスターの各地域の歴史に親しむ様々なイベントが開催される。	中央図書館リオープン・セレモニーとして参加。バックヤード・ツアー、映画上映会、講演、史料取扱セッション等を開催。また、マンチェスターのシンボル「働きバチ」にちなんだ「蜂ボックス (Bee Box)」を作成、蜂とマンチェスターに関わる記録やオブジェクトを収め、訪問者が楽しめるよう設置（このBee Box作成イベントはしばしば開催されることになる）。
4月	アーカイブズ+主催イベント、開館記念写真コンペティション	マンチェスターを題材にした写真（スマホやタブレットを含むカメラ全般）を一般から募集。候補作品がFacebook上で公開され、「いいね！」が一番多かった作品が優勝とされた。	※特に家族や若い人からの投稿を募集。

開催月	イベント	イベントの内容	アーカイブズ+の活動
5月	アーカイブズ+主催イベント 「Make Do and Mend」裁縫教室	文化財として所蔵している雑誌「Vogue」の表紙を参考に、古着やカーテンなどを利用し、自身のオリジナル・トートバックをデザインし、作成するイベント。	
6月	マンチェスター・サマー・メガ・マラ	毎年マンチェスターのプラットフィールド公園で開催される南アジア文化の祭。	「アートとクラフト」のテントを拠点に、マンチェスター市のシンボル、ミツバチをテーマにしたプレスレット作りを開催。
7月	中央図書館開館80周年記念イベント「War Horseが図書館にやってきた！」	映画「War Horse」に出てくる登場人物や馬に扮した人々が図書館に登場。映画の舞台となった第一次大戦時代の文書を扱うセッションも開催。	
8月	夏の読書チャレンジ	The Reading Agencyが全国展開して開催している夏の読書イベント。2014年のテーマは『不思議な迷路 (Mythical Maze)』という絵本。	テーマとなった本の登場キャラクターの妖精たちを工作するイベントを開催。
9月	アーカイブズ+主催イベント	コミュニティ展覧会と題し、「ウィルフレッド・オーウェンの戦争」展を開催。展示構成は地域の若者が作成。	※ウィルフレッド・オーウェンは第一次大戦期のイギリスを代表する戦争詩人。この展示プロジェクトは文化財宝くじ基金の支援を受けた。
10月	マンチェスター科学フェスティバル	マンチェスターの最先端の科学者を交えて開催されるフェスティバル。遊びと実験を交えながら科学に親しむイベントやワークショップが、期間中に各地で開催される。	マンチェスター・メトロポリタン大学の教授を呼び、病気や公衆衛生、感染マップ等を使って「アーカイブズのゾンビ」と題した相互交流講演を開催。
11月	アーカイブズ+主催イベント 「第一次世界大戦開戦100周年記念週間」	アーカイブズ+の全パートナー機関と共催で、1週間にわたり記念行事を開催。第一次大戦に関する音楽や映画上映会、講演会や同時代の記録取扱いセッションを行う。	
12月	クリスマス祝賀会	市役所の増築ホール、レイトホールでのクリスマス祭。	アーカイブズ+チームとマンチェスター中央図書館のメンバーが合唱とクラフトコーナーを提供。

※「アーカイブズ+」ブログ (<https://manchesterarchiveplus.wordpress.com/>) より作成